

風力発電連系可能量の設定と今後の風力募集方法について

平成 18 年 3 月 3 日
北陸電力株式会社

当社は、地球温暖化防止の観点から新エネルギーの利用拡大・普及促進を経営の重点事項として、さまざまな取組みを推進しております。

風力発電は風況により出力が大きく変動することから、電力系統への連系量が増大した場合、電力品質の一つである周波数への影響が懸念されるため、このたび、当社は、お客さまへ安定した品質の電力をお届けする観点から、現時点での風力発電の連系可能量を 15 万 kW に設定し、運用することといたします。

また、当社系統への既連系分と電力受給契約の申込受付分は 10 万 kW を超え、系統連系に関する事前検討の照会量を合わせると、当社の連系可能量を大きく上回っているため、電力受給契約に関する協議の随時受付を、本日 3 月 3 日から、一時中断いたします。

今後の風力発電の募集は、以下のとおり予定しており、具体的な募集方法は、当社ホームページで本年 4 月に公表する予定です。系統連系に関する事前検討の照会につきましては、これまでどおり随時受付いたします。

なお、今後、電力系統への影響を検証しながら、風力発電の連系可能量の評価を行う予定です。

当社に連系する風力発電の募集予定

- 募集枠 平成 18 年度 2 万 kW
平成 19 年度 2 万 kW(平成 18 年度までの応募状況により調整予定)
- 選定方法 抽選(各年度 9 月頃)

上記とは別に、風力発電を活用した新エネルギー普及啓発・教育、地域振興施策等に協力する観点から、自治体による風力発電やお客さまによる自家発電・自家消費の風力発電を随時受付。(募集枠 5 千 kW)

当社は、今後とも、新エネルギーの積極的な導入促進など地球環境保全への取組みを推進し、「環境先進企業」を目指してまいります。

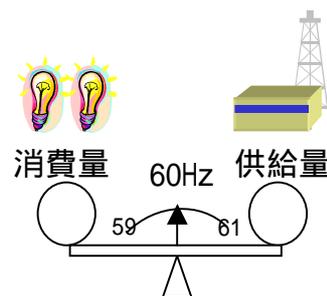
以上

1. 風力発電の出力変動が電気の周波数に与える影響

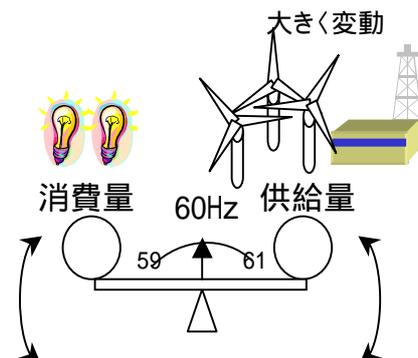
電気は貯めることができないので、消費量と供給量を同じにする必要がある。

消費量と供給量が同じでない場合、

- ・消費量よりも供給量が大きいと、周波数が上昇
- ・消費量よりも供給量が小さいと、周波数が低下する性質があるので、周波数が一定になるよう、供給量（発電量）を調節している。



風力発電の出力が大きく変動



風力発電が増えて、風況により出力が大きく変動すると、これに対応するための供給量の調節が難しくなり、周波数が変動する恐れがある。

2. 募集方法の比較

平成 18、19 年度（予定）	現 状
<p>連系可能量を 15 万kWと設定し運用</p> <p>募集枠による募集： 平成18年度 2万kW 平成19年度 2万kW （平成18年度までの応募状況により調整予定） 選定方法：抽選（各年度9月頃）</p> <p>自治体、自家発・自家消費の風力： 5千kWの募集枠を設定し 随時受付</p> <p>詳細な募集方法は、当社ホームページで本年4月頃に公表する予定</p>	<p>募集枠を設定せず、随時募集</p> <p>大規模風力発電対象（2千kW以上） 価格等の購入条件を協議のうえ契約 中小規模風力（2千kW未満） 当社が予め提示する購入条件で契約 風力（自家発・自家消費）からの電力 購入 当社が予め提示する購入条件で契約</p>